

## 平成27年度 特別会計の決算

特定の経費を、一般のものと区別して処理する会計です。国民健康保険と介護保険は黒字になりましたが、国庫支出金などの超過交付分として今年度に返還する経費を含んでいます。

区分	歳入	歳出	差引
国民健康保険	77億5,666万円	77億4,543万円	1,123万円
下水道	19億3,356万円	19億3,356万円	0
霊園	6,690万円	6,690万円	0
介護保険	39億1,156万円	38億0,643万円	1億0,513万円
後期高齢者医療	7億5,721万円	7億5,423万円	298万円

**基金** 残高**37億0,003万円** 市民1人当たり約**6万円**

家計で例えると、預貯金に当たります。施設の整備資金など、将来予定している大型事業や、安定した財政運営のために積み立てています。

平成27年度は、庁舎建設基金などを取り崩しました。また、不慮の財源不足に備えるための財政調整基金などを積み立てました。

### ◆平成27年度決算額

名称	残高
財政調整基金	7億8,791万円
土地開発基金	1億2,964万円
庁舎建設基金	11億7,396万円
減債基金	5億0,213万円
施設営繕基金	1億6,186万円
義務教育施設整備基金	1億5,675万円
霊園管理基金	2億1,629万円
その他	5億7,149万円
合計	37億0,003万円



## 平成27年度 企業会計の決算

使用料収入などにより、独立採算制で運営するための会計です。当市には水道事業会計があります。

資本的収支の差し引き分は、損益勘定留保資金などで補てんしました。

収益的収支…事業を運営する収支  
資本的収支…施設を整備するための収支  
損益勘定留保資金…減価償却費など、現金支出せず内部に留保している資金

区分	収入	支出	差引
収益的収支	13億9,454万円	13億0,524万円	8,930万円
資本的収支	544万円	4億1,075万円	-4億0,531万円

**市債** 残高**346億5,871万円** 市民1人当たり約**59万円**

家計で例えると、住宅ローンなどに当たります。公共施設を整備するためなどに、市が借り入れる長期の借入金です。

平成27年度は、新たに29億9,880万円を借り入れました。そのうち、建設事業に関連する借入額は、前年度より2億3,690万円多い16億7,220万円でした。

### ◆平成27年度末残高

普通会計	253億7,418万円
一般会計	252億9,428万円
霊園会計	7,990万円
特別会計	6,282万円
介護保険	6,282万円
公営企業	92億2,171万円
下水道	80億5,928万円
水道	10億6,245万円
駐車場	9,998万円
合計	346億5,871万円

## 平成28年度 予算の執行状況

### ◆予算の執行状況 (9月30日現在)

区分	予算額	執行済額・率 (%)		
一般会計	収入	100億4,607万円 39.3		
	支出	99億2,716万円 38.8		
特別会計	国民健康保険	収入	31億0,414万円 39.5	
		支出	33億0,248万円 42.1	
	下水道	収入	5億7,574万円 25.9	
		支出	7億6,106万円 34.2	
	霊園	収入	2,358万円 37.2	
		支出	1,665万円 26.3	
	介護保険	収入	20億3,360万円 47.0	
		支出	16億2,055万円 37.5	
	後期高齢者医療	収入	3億2,369万円 42.8	
		支出	2億5,573万円 33.9	
	企業会計	水道	収益的	収入 13億7,505万円 6億1,600万円 44.8
			支出 13億7,674万円 3億7,118万円 27.0	
資本的		収入	637万円 0円 0.0	
		支出	4億3,741万円 1億1,102万円 25.4	

平成28年度も引き続き、定住人口の増加と地域経済の活性化、安全で安心なまちづくりに重点を置いています。新庁舎の建設や、公共施設の大規模改修に必要な経費などを盛り込みました。

### ■一般会計の補正額は、4億5,820万円

認定こども園整備や市内に初めて住宅を購入する方を助成するファーストマイホーム支援助成金などを増額しました。

### ■特別会計・企業会計の補正額

国民健康保険は80万円、介護保険は1億1,153万円、後期高齢者医療は298万円を増額しました。

### ◆市税の収納状況 (9月30日現在)

区分	予算額	収入済額・率 (%)	
一般会計	市税	個人	24億1,136万円 9億0,020万円 37.3
		法人	6億8,172万円 4億0,353万円 59.2
	固定資産税	32億3,750万円 21億0,308万円 65.0	
	その他	10億7,949万円 7億5,603万円 70.0	
	合計	74億1,007万円 41億6,284万円 56.2	
特別会計・国民健康保険税	11億3,246万円	4億4,445万円 39.2	

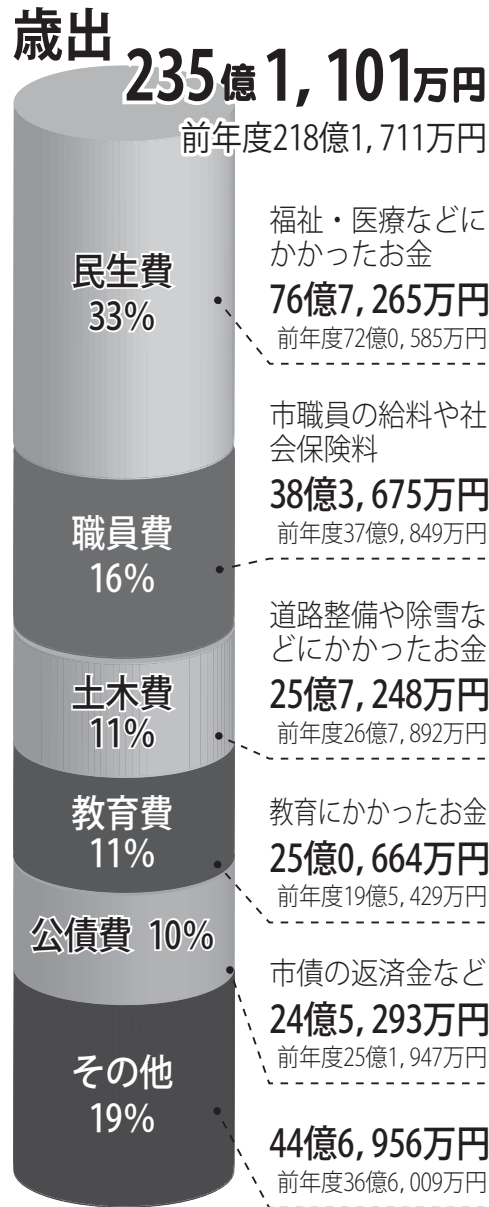
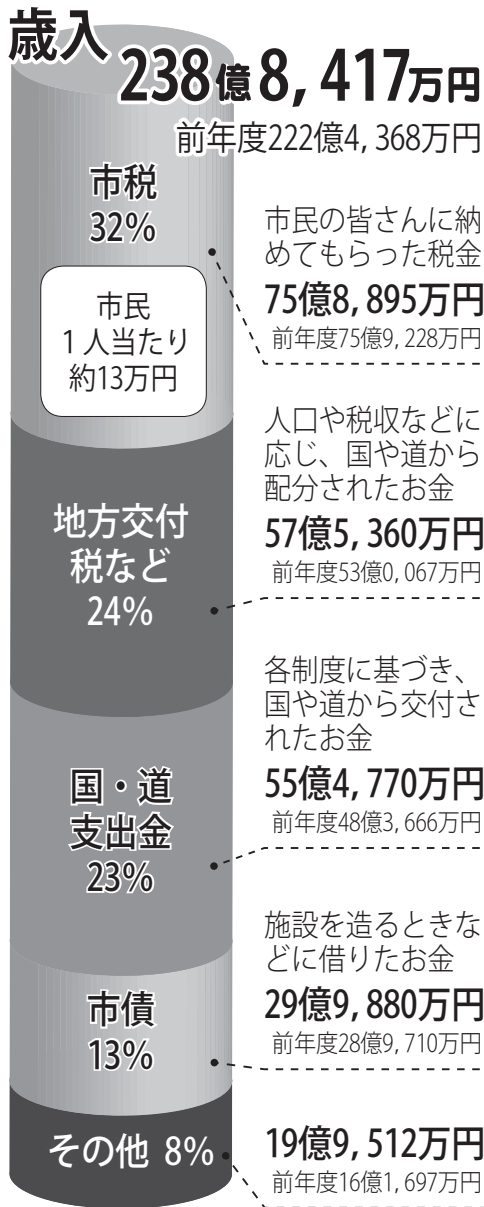
# 特集 北広島の財政

問合せ 財政課 (☎372-3311・内線865)

\*千円単位以下は省略しています。「市民1人当たり(の金額)」は、それぞれの額を下記の人口で割っています。

平成28年3月31日現在の人口 5万9,140人

## 平成27年度 一般会計の決算



### ◆主な使い道◆



新庁舎建設 4億9,621万円



北の台小学校校舎の大規模改造 3億7,120万円



共栄団地の建て替え 3億0,381万円



西の里ファミリー体育館の改修 1億8,621万円

## 財政は、良好を維持

市の財政状況は、財政健全化判断比率で示されます。4つの指標のいずれかが早期健全化基準を超えた場合などは、財政健全化計画を立てなければなりません。財政再生基準を超えた場合は、国の監督下で財政を立て直すことになります。公営企業の経営状況は、資金不足比率で示されます。

### ◆資金不足比率

対象となる会計	北広島市	経営健全化基準
下水道(特別会計)	資金不足なし	20.0%
水道(企業会計)	資金不足なし	20.0%

道内35市で最も良好

道内35市で10番目に良好

### ◆財政健全化判断比率

4つの指標	北広島市	早期健全化基準 (イエローカード)	財政再生基準 (レッドカード)
実質赤字比率 (一般会計などの赤字額の割合)	赤字なし	12.96%	20.00%
連結実質赤字比率 (全ての会計の赤字額の割合)	赤字なし	17.96%	30.00%
実質公債費比率 (借金返済額の割合)	4.4% 数値が低いと良好	25.0%	35.0%
将来負担比率 (将来の借金返済予定額の割合)	56.7% 数値が低いと良好	350.0%	